

庁舎建設に関するタウンミーティング  
開催報告書

平成 28 年 (2016 年) 10 月

旭 川 市

## 目 次

|     |             |   |
|-----|-------------|---|
| 1   | 開催目的        | 1 |
| 2   | 開催日時等       | 1 |
| 3   | 参加者の主な意見    | 1 |
| (1) | 新庁舎機能について   | 1 |
| (2) | 新庁舎建設について   | 2 |
| (3) | 敷地利用計画について  | 4 |
| (4) | 事業費及び財源について | 6 |
| (5) | 骨子について      | 6 |
| (6) | 市民参加について    | 7 |
| (7) | その他について     | 7 |

## 1 開催目的

新庁舎建設に向け、市では、多くの方々から様々な御意見を伺ってきたほか、庁舎整備検討審議会からの答申や市議会での議論を踏まえ、庁舎の機能や役割、規模、建設場所など庁舎整備の具体的内容を示す「旭川市新庁舎建設基本構想」（以下「基本構想」という。）を策定し、今年度の4月に公表しました。

また、今年度は、新庁舎の建設位置や建築面積、機能について、より具体的な方針を示す「旭川市新庁舎建設基本計画」を策定したいと考えており、その検討に当たって、現時点における市の考え方の骨格をまとめた「旭川市新庁舎建設基本計画骨子」（以下「骨子」という。）を作成し、骨子で示す市の考え方について市民意見を聞くため、タウンミーティング（意見交換会）を開催しました。

## 2 開催日時等

| 日 時                                            | 場 所                 | 参加者数 |
|------------------------------------------------|---------------------|------|
| 平成 28 年 9 月 7 日（水）<br>午後 6 時～午後 7 時 40 分       | シニア大学<br>講座室        | 59 人 |
| 平成 28 年 9 月 25 日（日）<br>午後 1 時 30 分～午後 3 時 15 分 | 国際交流センター<br>共用会議室 1 | 41 人 |

## 3 参加者の主な意見

タウンミーティングでは、他都市事例を紹介後、骨子の内容について説明し、意見交換を実施しましたが、時間に限りがあり、会場で発言できない場合も考えられることから、骨子に関する意見書の提出をもって意見を表明できることとしました。

なお、会場での発言や意見書で出された主な意見については、次のとおりです。意見は要旨を記載し、類似した意見については集約しました。

### (1) 新庁舎機能について

駐車スペースや車寄せに関するアクセス機能、市民活動の支援や旭川らしさの発信など新庁舎に付加する新たな機能について意見がありました。

#### ア アクセス機能への意見

- バリアフリーや冬の使い勝手を検討し、地下駐車場を残すか、別な場所に地下駐車場を作ってほしい。
- 大型バスの駐車スペースを確保できるようにしてほしい。
- 今の旭川医大のように、バスが建物の玄関先まで来るようにしてほしい。6条通に何台も停車していると冬は邪魔である。

## イ 新たな機能への意見

- 市民活動スペースは、市民活動交流センター（CoCoDe）などにあるので活用が少ないのでは。
- 閲覧スペースは図書館で良い。
- 市民が集える広場やレストランなど備えたら良い。
- 家賃収入を取って道新文化教室などのカルチャーセンターや店を入れると市役所に用がない人も来てにぎわうのではないか。
- 新庁舎建設を反対しているわけではないが、今の計画が旭川らしさに繋がるとは思えない。
- 市役所ににぎわいは不要であり、買物公園通りがにぎわうようにすることが最優先である。
- 旭川らしさを発信する市役所に人が集まるのか。その役割は別のところが果たすのでは。
- 市役所に求めるものは行政機能と災害対策のみである。

## (2) 新庁舎建設について

今年4月に公表した基本構想では、新庁舎を現庁舎周辺エリアに建設することを決定しましたが、改めて新庁舎建設についての意見がありました。

## ア 新庁舎建設に肯定的な意見

- 総合庁舎と第二庁舎を行ったり来たりすることが多々あり、不便を感じている。障害を持った方や高齢の方々からも使い勝手が悪いという声も聞いており、新庁舎を建替えることには賛成している。
- 耐震改修のほか、バリアフリーや車いすでも使えるトイレ、エアコンなど設備の問題もあり、それらにいくらお金が掛かるのかと思うので、新庁舎を建てた方が良いと思う。
- 総合庁舎は約60年経っているが、その時は耐震補強等深く考えた建物ではないと思うし、そろそろ寿命が近いのではと思うので、市民のことを考えて使いやすい庁舎を新築してほしい。
- 骨子に基づき新庁舎と文化会館の建替えて良い。
- 改修工事などをせず、安全・安心な庁舎を建設することを期待している。
- 総合庁舎の保存・活用という意見もあるが、耐震性が不足しているので、庁舎の安全性を第一に、骨子に記載されているような利便性と機能性を備えた庁舎を建設していただきたい。
- 立派な建物はいらないが新庁舎を建てる方向で良いと思う。文化会館は改修で良い。
- 建替えとなると一時的な費用は掛かり、耐震改修は費用を抑えられるが、維持費を考えると建替えが妥当である。総合庁舎は、利便性が悪いことも建替えに賛成する大きな要因である。
- 財政的に厳しい状況もあるが、旭川の発展のためにも機能的な庁舎が必要だと思う。

- これから元気なまちづくりを考える上で、全市民が安心して利用できる庁舎が必要である。最近自然災害が多発している中で、旭川の中核機能としての役割を果たせる庁舎が必要である。
- 新庁舎建設は良いが、現在の総合庁舎は残してほしい。第三庁舎敷地案にしてほしい。
- 庁舎建設には賛成する。色々な意見がある中、時間をかけて検討しているのが良かったので今後に期待している。使いやすい庁舎を期待している。
- 総合庁舎を改修しても6〜7割しか使えないとあったが、足りない分だけ小規模庁舎を新しく建てれば良い。足りない部分だけを最低限建てた方が費用も少なく済むと思う。

#### イ 新庁舎建設に否定的な意見

- 北見市は旧東急デパートの跡地を市役所としており、すごく良いアイデアだと思う。交通アクセスは、バスの拠点は駅前にあるので、北見市を参考とし、閉店後の西武旭川店を市役所とすると、市民に利用しやすい庁舎になると思う。
- 現庁舎周辺エリアでの建設にこだわる必要はなく、西武旭川店撤退後、市役所を移転し活用すると予算が安く済み、市民の利便性が上がると思う。
- 障害者などに配慮した改修は現在の庁舎でも可能で、何でも新築しなければならないことはないと思う。
- 設備の老朽化は、建物とは別の問題であり、今までに設備改修する機会があったはずである。それを放置し、耐震性が不足しているので全部建替えた方が良いとするのは、乱暴な議論だと思う。設備改修やバリアフリー化はいくらでもできるので建替えの根拠にするのは筋違いだと思う。
- 今以上の多額な起債（借金）が庁舎と文化会館で増えると、他の事業に大きな影響が出るので、庁舎、文化会館、地下駐車場の解体はやめて、改修して使してほしい。
- 将来的に人口が少なくなっていくことを考えると、今これだけの規模の庁舎を建てる根拠は薄いのではないかと思う。
- 人口が減少する中大きな立派な箱物はいらない。立派な庁舎ではなく、市民が使い勝手良く親切な市役所であるためにはどうすれば良いのかを考えてほしい。借金を子・孫の時代まで少しでも残さないようにしてもらいたい。市民の税金をいかに大切に使うかだ。新庁舎を建てることには大反対である。今の庁舎を直して使っていくよう願う。
- 震災が多い横浜の市庁舎は耐震改修されており、耐震性の不足を理由に建替えるのは説得力がない。文化会館の新築もそうだが、立ち止まって考え直してほしい。

#### ウ 新庁舎建設に対するその他の意見

- 車いす利用者の目線で話すと、雪が降ると車で一人で市役所に行くことができなくなる。屋根がなく雪が降ると車いすを漕いで窓口に行き、手続きを終えて車に戻ると車に雪が積もっている。地下駐車場もあるが、車いすでは利用できない。建替えるのであれば、その部分を考慮してほしい。改修だとしても、それらを作

った場合にどれくらいお金が掛かるか考えてほしい。

- ①利便性重視で安く新築するか、ビル1棟を改修して駅前に移転する、②観光地として集客を見込める有名な建築家が今の敷地で建てる、③総合庁舎を改修、減築して残す、の3つの選択肢があると思う。新築しても今の庁舎のレンガを使うなど面影を残したものができると良い。
- 建替えに至った経緯が見えない。市民活動の支援などは現状でも改善でき、旭川らしさの発信には旭川の歴史があり、総合庁舎のような文化的な財産を壊すとする時点でこの理念はどうかと思う。

### (3) 敷地利用計画について

骨子で示した敷地利用計画のうち、「新庁舎の建設に当たっては文化会館の建替えと合わせた一体的な敷地利用計画とすること」、「総合庁舎及び第三庁舎は解体撤去し、敷地の有効利用を図ること」について多くの意見がありました。

#### ア 文化会館の建替えと合わせた一体的な敷地利用計画とすることへの意見

- 文化会館を新しく建設するのは10年以上先であり、それまでは緊急の改修も必要になるだろうし割高になるのでは。
- 骨子の内容は上位計画の総合計画に反しており、文化会館の建替えは市民説明が全くされていないので納得できない。
- 文化会館は、改修して使うために数千万円掛けているので、なぜ建替える必要があるのか。
- 骨子の中に、文化会館の解体、新築の計画が唐突に浮上してきたことに対し、強い違和感を持っている。一度改修設計をしておきながら、市民への説明もなく事業を中止するというのはおかしいのではないか。耐震改修しても20年程度しかもたないと言う、建物は完成直後から劣化に向かって時を刻むので、次の20年に向けて改修費用を積み立てれば良いのでは。使い続けて行くことが、旭川市の国際的な評価と尊敬につながっていくことに気づいてほしい。
- 文化会館の解体に反対する。庁舎建設費だけでも多額なのに、今以上に子どもや孫に負担させないでほしい。生きたお金の使い方を再検討し、市民に使うべきである。
- 文化会館は日章小学校跡地に建設が良いのでは。
- 改修の間、文化会館が使えないのであれば大雪アリーナを使えば良い。

#### イ 総合庁舎を解体撤去し、敷地の有効利用を図ることへの意見

- 総合庁舎を改修し続けて20年が100年、120年保つのなら、今ある物を今あるがままに次代に継承するのなら、歴史的にすごいことではないか。
- 解体するとごみが出てその費用も掛かるので、解体を前提に進めていかないでほしい。
- 残すと新築と同じくらいお金が掛かるなら建替えた方が良いという意見があるが、古い建物があることによって街の魅力が増すと思うし、古い建物にはお金だけではないという価値観があっても良いと思う。

- 費用が掛かりすぎるので名建築を活かして改修する方が良い。全てを新しくせずに優れた建築物を残したい。
- 総合庁舎はその価値を踏まえ再利用してほしい。耐震改修や窓口の動線を直して総合庁舎を使えないか。新庁舎の費用を抑えるため、足りない部分だけ作る考え方をしてほしい。
- 旭川市役所に思い入れのある多くの人のために総合庁舎を残すべき。
- 骨子の旭川らしさの発信に「市のシンボルとしての庁舎」とあるが、歴史もあり、建物としても評価されている総合庁舎こそが市のシンボルとなる唯一の存在だと思う。
- 既存の庁舎は残すべきである。第 8 次総合計画では都市づくりの基本方策の中に「造る」から「保全活用」への転換とあるが、これと合わない。
- 総合庁舎をきちんとした改修することで、耐震性の不足も利便性も、そしてデザイン性も良くなると考える。集約しすぎるのは良くないと思う。災害が起きた時、分散されていることで対応が早くできることもある。市民活動の場として総合庁舎を使いたい。
- 新庁舎になると効率化が図れると思うが、古い建物を活用することで旭川の歴史的な味わいや文化を残す効果もあると思う。総合庁舎の価値を未来へ引き継ぐ姿勢が感じられる基本計画が必要。総合庁舎の改修について検討しつくして新庁舎を建設するとしたのかはっきりしていないと思う。

#### ウ 敷地利用計画に対するその他の意見

- 2 期棟の建設場所をなぜ文化会館にかかる所を選んだのか疑問。建てるのであれば、第三庁舎跡を駐車場せずに、2 期棟とするのがふさわしいのでは。もしくは 1 期棟で全部建ててしまう方法もあるのでは。
- 地下駐車場は 242 台駐車でき、周りに他の大きな駐車場はない。第三庁舎を壊しても、その半分のスペースを確保できるかどうかでは。解体工事が続くと、交通渋滞や騒音を心配している。
- 総合庁舎と文化会館に繋がっている 7 条駐車場を壊すのは、台数だけの問題ではないと思う。
- 新しく文化会館を建替えることを市民は知らない中で 7 条駐車場の撤去費を予算化するの行き過ぎではないか。7 条駐車場は屋内の駐車場で、文化会館にも総合庁舎にも行ける。それがなくなると不便になる。
- 大きい新庁舎を建てるために総合庁舎を解体するなら仕方ないと思ったが、2 つ建てるならば、1 つは文化会館と総合庁舎の間に時代に即した新機能を有する庁舎を建て、もう 1 つ分は現総合庁舎を使う選択肢もあって良いと思う。
- 総合庁舎、文化会館の解体に反対。地下駐車場も残してほしい。

#### (4) 事業費及び財源について

事業費を抑えることや、返済計画についての意見がありました。

##### ア 事業費の意見

- シンプルな市役所、低コスト運営の庁舎を目指してほしい。
- 新庁舎の機能は、必要性は理解できるが、経費との見合いで検討すべきであり、最大限事業費を圧縮することが必要ではないかと思う。
- なるべく、お金がかからない方向で考えてほしい。新庁舎を建てるための寄附を募れば良いと思う。寄付金の集まり具合で新庁舎にした方が良いと思う声がどれだけあるかもわかると思う。
- 建設事業費が 118 億円あまりとのことだが、若い世代につけが及ばないようにしてほしい。建てるのであれば、シンプルなもので、できるだけ無駄を省いて市民が利用しやすいシビックセンターであってほしい。事業費をもっとカットできないのか。「身の丈に合ったもの」が必要ではないか。作った後が大変だと思う。
- 建築面積を拡大し高さを抑えてコストダウンするという説明だが、地下駐車場や文化会館の一部を壊すと基礎や地下に関わる工事が増えると上がるのでは。積算根拠を示してほしい。

##### イ 財源への意見

- 駅舎を建てるのも反対したが、その建設費用の残債がまだあると思う。残債のほかに庁舎の建設費用が増えるのなら、20年で償還できるのか疑問である。
- 旭川市は財政的に裕福なのか。お財布をしっかりと見てから計画をたててほしい。
- 事業費における返済計画の説明がされておらず、起債に頼らざるを得ないことを市民は知らないし、税収が上がらない中、そのような計画に税金を使ってほしくない。夕張市のようにならないよう踏みとどまることを検討してほしい。

#### (5) 骨子について

骨子で示した市の考え方についての意見がありました。

- 建設候補地や既存庁舎の取扱いは骨子にあるとおり「総合庁舎敷地」、「解体撤去し、敷地の有効利用」するのは総合的に考えるとベターだと思う。
- 新庁舎に関して、環境や人、災害など他県などの事例も踏まえて考慮していることは評価したい。今後、現状の問題を解決し、より良い新庁舎になることを期待する。
- 文化会館の建替え費用が記載されていない部分が気になったが、色々と検討されており、方針としては概ね良いのではないかと。他都市の良い事例を極力取り入れ、市民に親しまれる庁舎としてほしい。
- 新庁舎を建てることは反対しないが、あまりに計画の進め方が雑ではないか。歴史や文化を大切にしたい都市計画を地元の専門家を入れて考え直してもらいたい。10年後には、人口が25万人にまで落ちることが予測されているのに、骨子の事業内容はあまりにも非現実的で一市民としては賛成できない。計画を一度ストップして、市民的な議論の場を設けてほしい。

## (6) 市民参加について

新庁舎建設の取組の市民周知に関する意見や意見交換後の市民意見の取扱いについての意見がありました。

### ア 市民周知への意見

- 何年も検討しているので振り出しに戻る必要はないが、もっと市民に経過を説明することが必要だと思う。
- 新庁舎の計画をメリット・デメリット・金額を分かりやすくインターネットで公開し、周知を徹底すると良い。
- もう少し市民を巻き込んだ議論をもっとすべき。そして、パブリックマインドをもった責任のある市民を育てることが、生き生きとしたまちづくりをする上で大切だと思う。
- 多くの市民は、今回の骨子を知らないと思う。
- 今回は骨子の説明が短くて、意見交換時間が長くて良かった。もう少しタウンミーティングしてほしい。
- 段階で検討の余地があるなら、役所の人よりも市民の方がたくさんアイデアがあると思う。みんなで話し合った方が借金や不自由があったとしても、これはあの時みんなですら決めたから良いのだと言えると思う。行政に勝手にが進められると不信に思う。否が応でも目に入るような広報をし、市民がもっと目を向けて文化会館は 20 年限定でも改修がいいのか、地下駐車場がなくなっても新しい駐車場があれば良いかななどを投票して決めることを検討した方が誰もが納得できる物ができると思う。

### イ 市民意見の取扱いへの意見

- 市長は市民の意見を聞いているようで結果何も変わっていない。
- 骨子と異なる市民意見が出て計画どおり進むという結論ありきを感じた。総合庁舎を解体前提で進めているので、意見を聞いてほしいと思った。
- 結局、タウンミーティングは単なるセレモニーであって、結論ありきのガス抜きでしかない。特に改修については、全然聞く耳持たない風にしか聞こえない。もっと身近な所で数多くの意見を聞く機会を作るべき。
- 市民委員会を通して、もう少し市民の意見を聞いてもらえたらと思う。
- 意見交換集約の上、新庁舎基本計画を決定してほしい。

## (7) その他について

骨子や新庁舎に関するその他の意見がありました。

- 建て替えるならば何十年かけて計画し建てていくので、市も飲食店やホテルなどに一緒に街づくりをして行こうと呼びかけていってもらいたい。ある県では、ホテルや飲食店をバリアフリー化するのであれば、店作りの何%を助成するという市があるので、一緒に街づくりをしていかなければいけない時代だと思う。
- 新庁舎に多くの経費をかけるのはどうかと思うので、小さな街づくりで市の規模に合った建物を目指すべき。
- 2期棟が建つまで期間があり、1期棟後、2期棟に入る予定部門はどこに移転す

るか気になった。

- 新設より既存施設の修繕を優先してほしい。
- 各支所を整備すべきだ。利便性で考えれば、支所を地域の人に使いやすくすることで、利用者が街中までこなくても、行政サービスを受けられる方がずっと良い。
- 工事期間中のサービスは十分か。新庁舎の耐用年数や20～30年度の改修費用についてどのように考えているか。
- 旭川市の庁舎なので、旭川の業者がメインとなれる計画とし、地元企業の活性化を考慮してほしい。
- もう少し庁舎の機能についての意見交換を聞きたかった。
- 今後の街づくりの要素として、ハード・ソフトの両面のバランス効果が必要で、トータル的に相乗効果が得られる。人口減少など暗い要因があるが、いかに人が集まるかを市民で考えていくことがインパクトのある行動ではないか。使い方、利用の仕方等のアイデアにより、未来の若者達に残す市財産作りという考え方もあって良いのではないかと思う。歴史は繰り返すではなくて、新しい歴史を創り出そうという発想があっても良いと思う。
- 新築するメリットと、改修して活用するメリットとの情報バランスが悪いと思う。両方の良さ、悪い点を比べて市民は考えたいのだと思う。
- 庁舎整備検討審議会には建築の専門家が入っているかもしれないが、50年や100年に1回の建物について専門家だけが集まる審議が必要であり、また、庁内の一部署だけではなく、市職員も自分のこととして考えることが必要だと思う。